

令和7年度第1回学校運営協議会記録

日 時

令和7年7月11日（金）10:00～1130

場 所

本校会議室

参加者

- 【A氏】（学識関係者）
- 【B氏】（行政関係者）
- 【C氏】（地域関係者）
- 【D氏】（福祉関係者）
- 【E氏】（福祉関係者）
- 【F氏】（医療関係者）
- 【G氏】（福祉関係者）
- 【H氏】（PTA関係者）
- 【I氏】（PTA関係者）

1 開 会

2 校長挨拶

本日は、ご多用のところ、お集まりいただき、ありがとうございます。委員の皆さまには、日頃より、本校の教育活動に、多大なるご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、本校では、令和4年度に学校運営協議会がスタートし、熟議を重ねながらよりよい学校運営につなげてまいりました。

今年度は、年間3回の学校運営協議会を計画しております。委員の皆さまには、気仙光陵支援学校の応援団として、教育、行政、福祉、企業、医療、地域、保護者、様々な視点から、忌憚のないご意見や貴重なご提言をいただきたく存じます。

今日の協議が、本校のさらなる発展に繋がる実り多いものとなりますよう、皆さまのご協力をお願いいたします。

3 出席者自己紹介

4 会長・副会長選出

会長：A氏（承認）

会長挨拶： 忌憚ないご意見をいただき、よりよい学校運営につなげていきたい。協力できることがあればしっかり協力して参りたい。よろしくお願いします。

副会長：B氏（承認）

副会長挨拶： 副会長として協力して参ります。よろしくお願いします。

5 協議（進行：会長）

（1）令和7年度学校経営方針について（資料p1：校長から説明）

- ・学校経営を行うことは学校長の職務として位置付けられているが、校長一人で学校全般に係る校務すべてを行うことは不可能。先生方職員一人一人が気仙光陵支援学校という組織の一員として、学校組織として機能的に循環し、効果的な学校教育が展開できるよう、力を発揮していただきたいということを年度初めの職員会議で職員へ話したところである。

→ 質問なし。意見なし。承認。

（2）令和7年度学校経営計画について（資料p2：校長から説明）

- ・こちらは、岩手県教育委員会の様式で、いわて県民計画、岩手県教育委員会経営計画、本校の経営方針に基づいて作成している。
- ・重点目標には岩手県教育委員会が重点としている「いじめ対策にかかわる目標」、「不適切な指導の根絶」にかかわることを加えている。また、「学校評価」を基に重点目標に関連する評価項目の結果から達成指数を設定した。

→ 質問なし。意見なし。承認。

（3）令和7年度働き方改革アクションプランについて（資料p3：校長から説明）

- ・学校における働き方改革の目的は、「教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨くとともに日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、自らの人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようになること。」を校内で確認している。
- ・これまでの組織としての働き方、例えば「前例」を見直す意識をもつこと。先生方自身の働き方に対するマネジメント意識をもつようにしていきたいと考える。マネジメントには、業務分担や業務完了日時の設定など、いろいろな視点が考えられる。
- ・アクションプランは、昨年度のものから少し視点を変えて作成した。例えば、時間外在校時間の視点だけでなく、年次休暇取得の視点を入れた。休暇を取得しやすい環境とはどんな環境かを職員へ投げかけ、考えることで、意識付けを図っている。
- ・夏季休暇は5日間取得できるが、昨年度より、6月から10月までと取得期間の幅が広がっているので余すことなく取得していただきたいこと。キャリアアップ休暇対象者にも、所定の期間内に取得していただきたいと思っている。

- ・令和7年度の重点取組事項の「週1回のノー残業デーと月1回の完全退庁日」については、金曜日に設定とした。遠距離通勤や単身赴任の職員が多いこともあり効果が現れていると感じている。

→ 質問なし。意見なし。承認。

(4) 令和7年度「これからの気仙光陵支援学校を考える」について(資料p4～6:副校長から説明)

- ・「おもしろい」は校長が提示したテーマ、「エージェンシー」は自分の意志で考え行動し、変化を起こす力のこと。2つの言葉を念頭に今年度の取組みを進める。校内研修として職員それぞれが興味関心をもつテーマ(資料p9～19に示す11グループ)に取り組む。
- ・グループ別研修の進捗を月に1回程度発信する予定。各グループから発信されたことを確認し、日々の授業に生かせる視点や実際に生かせることがあれば取り入れてみるなどしながら研修と授業を往還させる視点をもって取り組む。
- ・各グループで取組みを進める中で地域に協力いただきたいことや、活用できる人材についてなどの情報提供を委員の方々にお願いしたり、ご相談させていただいたりすることがあるかもしれないので、その際はご協力願いたい。
- ・授業や活動は去年の取組みを基に進めることとし、「一体感・つながり」という視点をもって取り組む。大きな捉えの「一体感・つながり」は「学部間」「地域」であるが「児童間」「生徒間」「教師間」「児童生徒と教師間」「教師と保護者間」といった視点も含む。
- ・「一体感」と「つながり」が昨年よりも「深化」して「広がる」ことを目指すために取組みの目的を再確認し、目的達成に向け必要や不必要について加除しながら取り組む。

【G氏】

- ・説明がなされて取組みについて理解することができた。これまで取り組んできたことをカテゴリー化し、整理されたことが分かった。資料を見て先生方のやることが増え大変になったのかと思ったが、そうではないということが分かった。
- ・昨年から運営協議会で取り組んできた気仙光陵支援学校の魅力を発信するという共通テーマがあると思うが、取組みを可視化し、外部発信することが増えすぎていかなければよいと心配している。
- ・実践計画書についての意見。障がい福祉分野での支援計画において矢印表記は具体的な計画性がないということから矢印表記を禁止している。矢印ではなく実現性ある内容を記載するのがよいと思う。

→ 上記以外、質問なし。意見なし。承認。

6 委員の皆様から（学校に対するご提言、ご要望、本日の感想等）

【A氏】

- ・15年ほど前に気仙光陵支援学校を訪問したことがある。校舎見学を通して子どもたちが笑顔で頑張っていることが分かった。支援学校で取り組んでいることについても丁寧な説明があり理解できた。小学校に通じることも多くあり学びとなった。

【B氏】

- ・運動会でも子どもたちの姿を見させていただいた。その際も、今日も子どもたちが一生懸命に学ぶ姿を見ることができ、非常に感慨深いものがあつた。校内研修は説明をしていただき働き方改革の視点から先生方の負担にならないか気になったが、説明を聞いて安心した。とてもよい取り組みだと感じた。「つながり」に向けた取り組みをすることが大事だと感じた。今後を楽しみにしている。

【C氏】

- ・見学の際、以前に交流した生徒2名が私のことを覚えていて、声を掛けてくれたことに感激した。9月に中学部生徒のピーマン収穫があるので学び多い機会としてもらえるよう畑の手入れを丁寧にしていきたい。

【D氏】

- ・働き方改革については私の職場においても、今の状況に合わないことや子どもたちの質も変わっていて難しさを感じている。これまでの仕事のやり方に自信をもち、それを崩さないようにと考える方もいる。時間をかけて取り組むことが良いと考える風潮もあり、意識改革が必要だと感じている。今後も支援学校の取り組みを聞かせてもらいながら参考にしていきたい。

【E氏】

- ・気仙地域については知らないことが多いと感じている。相談支援業務もしているので、地域とつながりながらご本人やご家族、学校や先生方ともかかわっていきたい。

【F氏】

- ・学校医を務めており、小学部数名を除きほとんどの児童生徒とかかわっている。少子化の現状について情報提供する。2010年気仙医療圏（大槌、釜石、大船渡、陸前高田、住田）での出生児は約700人だったが昨年は310人。大船渡、陸前高田合わせて200人を下回った。しかし、出生児が減少する中であっても支援学校の役割が今後さらに重要になることを予測している。
- ・災害時における福祉避難所に気仙光陵支援学校が指定されている。大船渡市と連携し、気仙地域全体を考えながら体制整備を進めていく上での手伝いをしていきたい。
- ・コロナ禍以降、萎縮し、活動を自粛してきたのでエージェンシーの取り組みは前向きでよいと感じた。

【G氏】

- ・4月から就労継続支援B型事業所を立ち上げ、地域の農家支援に取り組んでいる。当事業所ではピーマン収穫や出荷調整等の業務を担っている。夏場のピーマン取り扱いは岩手県が1番多く、大船渡J Aも力を入れている。生徒がピーマンともしっかりかかわっていけるようにピーマン交流や農耕班で取り組んでいることは「仕事」になることを生徒にも伝えていただき、今後も指導の充実を図ってもらえるとよい。
- ・草刈り機を使用できるように生徒の指導をしていたが、縮小傾向にあるという話を聞いた。草刈りはシルバー人材センターの減少で、需要が大きくあることや当事業所では時給当たり1,000円で草刈り業務を受託している。今後の取り組みについての参考にしてほしい。

【H氏】

- ・昨年から運営協議会に参加していて、取り組みが充実してきていることを感じた。グループ別に取り組む研修については、小グループで製造に当たる製造業に似ていると感じた。製造業では利益追求中心になるのだが、学校のグループ別研修は資料作りに重きを置くのではなく、それらの取り組みが先生方の働きやすさにつなげていくことに重点を置いた取り組みを進めてほしいと感じた。取り組んだことを発信する中で、さらに素晴らしいものになっていくものと思う。引き続き、頑張っ取り組んでほしい。

【I氏】

- ・子どもたちの様子が見られてよかった。取り組みについても丁寧な説明があり、ありがたかった。初めて学校運営協議会に参加したので緊張しながら話を聞いていた。今後ともよろしく願いしたい。

【C氏】

- ・7月5日、立根町社会環境部で私の自宅付近の竹やぶや草刈りを実施した。6月30日、熊が出没した。4回目である。立根小学校のすぐ近くだが獣の通り道になっていて猪も3回出没した。獣は姿をみられることを怖がる習性があることから草刈りは非常に有効といわれているので、今後も草刈りなどの環境整備事業を始めたことをお知らせします。

【F氏】

- ・気仙地域自立支援協議会児童部会ワーキンググループとして医療的ケア児自立支援推進に取り組んでいる。先日、第1回研修会を開催した。11月29日、第2回目を開催予定。内容は昨年度中学部3年生の修学旅行に、多くの配慮を受けながら参加することができたという素敵な体験談について保護者の快諾を得たので地域の方々にお伝えする予定である。

校長謝辞

本日はたくさんの貴重なご意見を頂戴しました。心より感謝申し上げます。

本校の教育活動において、地域の皆様に、ご理解と学びの場の提供などのご支援をいただき、大変心強く感じております。地域での活動をとおして、本校の教育活動を知ってもらうということ、それから気に留めてもらうこと、そしてその上で見守ってもらって、また具体的に何か発展をしていくというような部分を大切にしていきたいと思っております。

障がいのある子どもたちの自立と社会参加をどうイメージし、日々の学習活動につなげていくかということに、思いを新たにし、日々の授業を大事にしていきたいと思いました。

また、学校から発信していくのだという姿勢を、私たち教職員が共有し、そして地域の方々に支えていただきながら、今後も教育活動を進めてまいりたいと思います。

本日は、誠にありがとうございました。

7 今後の運営協議会の日程について

- ・第2回の学校運営協議会は11月18日（火）